

名古屋大学未来材料・システム研究所教授公募要領

1	募集件名	教授の公募	
2	所属	未来材料・システム研究所 システム創成部門（工学研究科 土木工学専攻 社会基盤機能学講座 兼務）	
3	募集内容	<p>名古屋大学未来材料・システム研究所では、システム創成部門における研究活動をさらに発展させることのできる人材を求めて、教授1名の募集を行います。</p> <p>当研究所は、文部科学省による「環境調和型で持続発展可能な省エネルギー・創エネルギーのための材料とシステム研究拠点」として認定され、国内外の大学や研究機関の研究者の共同利用・共同研究を通じ、省エネルギー・創エネルギー技術に関する研究を幅広く推進しています。このような研究活動を強力に推進するため、システム創成部門では、地球規模あるいは地域規模において、持続可能でかつ環境調和型のエネルギー変換・インフラ・ネットワークや物質変換・物質循環に関する様々な要素技術開発とともに、それらを高度にネットワーク化させ社会に実装するための方法論の構築を目指しています。また、そのために必要となる高度なエネルギー変換技術・システム、省資源・省エネルギーに資する環境負荷低減技術、リサイクル技術や物質循環再生システムの開発、エネルギーインフラの計画・制御技術の構築とそのために不可欠となるエネルギー・情報・物流に関する高度な情報ネットワーク技術に関する最先端の研究も推進しています。</p> <p>公募の対象となる研究領域と求める人材</p> <p>本公募では、土木工学分野における環境工学、環境システム工学の先端研究を推進し、大型研究プロジェクトを国内外の研究者と連携して実施するとともに、同分野の人材育成を積極的に先導できる特に優れた人材を募集します。</p> <p>なお、名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</p> <p>業務内容 (雇入れ直後)</p> <p>土木工学分野における環境工学、環境システム工学の先端研究の推進および産学連携研究と、これを通じた学部・博士前期・博士後期課程学生の教育を行いつつ、世界的に卓越した研究業績をおさめることとします。</p> <p>(変更の範囲)</p> <p>東海国立大学機構が指定する業務</p>	
		<p>[勤務地]</p> <p>(雇入れ直後) 愛知県名古屋市千種区 (変更の範囲) 東海国立大学機構が指定する就業場所</p>	
		<p>[募集人員] 1名</p>	
		<p>[着任時期] 2025年4月1日(以降できるだけ早い時期)</p>	
		<p>[備考]</p>	
4	募集研究分野	大分類	工学
		小分類	環境工学、環境システム工学
5	勤務形態	常勤(任期無)(研究プロジェクト期間は10年以内)	
6	応募資格	<p>(1) 博士の学位を有していること。</p> <p>(2) 上記公募領域の研究に対して十分な実績と強い熱意・意欲を持っていること。</p> <p>(3) 自身の専門分野を中心にしながら所内外のプロジェクトでの共同研究が可能な</p>	

		<p>こと。</p> <p>(4) 未来材料・システム研究所、システム創成部門の運営に積極的に関わって頂けること。</p> <p>(5) 工学部環境土木・建築学科、工学研究科土木工学専攻に関連した講義（衛生工学を含む）と学部ならびに博士課程（前期および後期課程）の研究指導ができること。</p> <p>(6) 大学院において英語で授業ができ、英語で学生の研究指導ができること。</p>
7	待遇	<p>[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）]</p> <p>東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm 給与は本機構において定める年俸制とする。</p>
8	応募期間	2024年8月30日（金）17:00 必着（予定）
9	応募・選考結果通知連絡先	<p>[応募方法（提出書類の送付先）]</p> <p>以下の書類を、応募期間内（必着）にメールにより提出。</p> <p>(1) 履歴書（書式自由、写真貼付、電子メールアドレスを含む連絡先記載）</p> <p>(2) 研究業績リスト（①査読付き論文（責任著書論文に○）、論文引用数を表記：Scopus 基準）、②国際会議、③著書、④総説・解説など、⑤特許、⑥受賞、⑦基調・招待講演、⑧外部資金獲得実績（代表のみ記載）、⑨土木学会等の活動を含む社会貢献）[共著者名はすべて掲載順に記入し、自身の箇所に下線を付すこと。]</p> <p>(3) 主な論文10編以内の別刷り（上記(2)研究業績リストに※印を付すこと。）</p> <p>(4) これまでの教育・研究の概要（任意形式でA4用紙3ページ以内）</p> <p>(5) 着任後の研究プロジェクト課題名とその研究計画（任意形式でA4用紙3ページ以内、5～10年の期間を想定して記すこと。）</p> <p>(6) 教育研究に関する抱負（任意形式でA4用紙3ページ程度）</p> <p>(7) 所見を求めうる方（2名）の氏名、所属、連絡先</p> <p>書類送付先：名古屋大学未来材料・システム研究所 所長 内山 知実 宛 uchiyama*@is.nagoya-u.ac.jp director*@imass.nagoya-u.ac.jp （メールを送る際は@前後の*を削除して下さい。）</p> <p>※メールは上記2つのアドレスに送付すること。全文書をまとめたPDFファイルを電子メールに添付すること。ファイルサイズが大きい場合は大容量ファイル転送サービス等を利用すること。</p> <p>問合先：名古屋大学未来材料・システム研究所 システム創成部門 部門長 加藤 丈佳 kato.takeyoshi.b5@f.mail.nagoya-u.ac.jp （メールを送る際は@前後の*を削除して下さい。） 電話 052-789-5373 ウェブサイト http://www.imass.nagoya-u.ac.jp</p>
		<p>[選考内容（選考方法、採否の決定）]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書類選考の上、面接を実施。 ・面接実施者については、メール等で連絡を行う。
10	みなし輸出について	<p>2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際には「類型該当性判断のフローチャート」を確認したうえで、様式1「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。</p> <p>以下から自己申告書様式をダウンロード・記入し、他の応募書類とともにご提出ください。 https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/SngAFPBwp52NCyB</p> <p>なお、採用となった場合は別途「誓約書」の提出が必要となります。</p>

11	そ の 他	<ul style="list-style-type: none">• 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。• 応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。• 面接に要する交通費は支給しません。
----	-------	---